

さいたま市長 7月定例記者会見

平成25年7月18日（木曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。  
それでは、記者クラブ幹事社の毎日新聞社、進行をよろしく願いいたします。

○ 毎日新聞 よろしく申し上げます。今月幹事社の毎日新聞社と申します。よろしく  
申し上げます。

では、まず市長から発表申し上げます。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。今年は、梅雨が明けるのが非常に早く、いきなりの記録的な夏の暑さがやってまいりました。私も先週末、海外出張から帰国をし、現地では朝夕は半袖では寒いくらいの気候でございました。さいたま市に戻ってきますと、この暑さに非常に驚いており、暑さに負けない体調管理に気を引き締めているところでございます。

暦の上では今月23日がいわゆる大暑で、一年で最も暑い時期と言われております。例年ですと、この時期が梅雨明けで、これから暑さ本番となるところでありますが、本市でも既に毎日のように熱中症の報告を受けております。改めて申し上げますが、市民の皆様には熱中症だけではなく、水の事故、落雷などにはくれぐれもご注意をいただき、これから続きます夏の暑さを上手にやり過ごし、お健やかに過ごしていただきたいと思っております。

それでは議題に入らせていただきます。

### 市長発表：議題「若田宇宙飛行士 日本人初 国際宇宙ステーションコマンダー就任 ～4回目の宇宙へ～」

本日の議題は、「若田宇宙飛行士 日本人初 国際宇宙ステーションコマンダー就任 ～4回目の宇宙へ～」についてご説明をさせていただきます。

まず初めに、若田光一宇宙飛行士とさいたま市のかかわりについてご紹介をしたいと思います。

若田飛行士は、ご案内のとおり1963年にさいたま市北区、旧大宮市で誕生いたしました。これから、大学の進学まで公立の小中学校、そして高等学校とさいたま市内で過ごされました。

そして、子どものころはリトルリーグのチームに所属するほどの野球少年であったということでもあります。

1989年、九州大学の大学院を修了されまして、日本航空のエンジニアとして入社をされました。

そして、1992年に宇宙飛行士候補生に選ばれました。そして、1993年、NASAよりミッションスペシャリストに認定され、若田宇宙飛行士が誕生するということになったわけでもあります。

これまで、若田飛行士、3回宇宙へ飛行されたわけではありますが、この間多くの功績を残されました。

1回目のミッションは、1996年1月11日から20日まででしたが、日本人初のミッションスペシャリストということで参加をいたしました。1996年1月11日から20日まで滞在して、船外活動での繊細なロボットアーム操作というものを行われまして、宇宙空間に浮遊する観測フライヤーの回収に成功されました。帰還後、当時は大宮市であります。市民栄誉賞を受賞されました。

そして、2回目のミッションは、2000年の10月の12日から25日まででございます。この際は、ロボットアーム操作の技術が認められまして、国際宇宙ステーションの組み立てを行われました。そして、この年には、2001年1月に凱旋パレードを大宮ソニックシティ前で行わせていただいたところであります。

そして、3回目のミッションは、2009年3月から7月ということで、日本人初の宇宙への長期滞在を果たし、そして日本初の有人宇宙施設としての実験棟「きぼう」というものを完成をさせました。宇宙との交信イベントや帰還報告会を実施し、宇宙劇場、そして青少年宇宙科学館の名誉館長にもご就任をいただきました。

そして、今回はいよいよ4回目の宇宙へということでございます。平成25年11月に国際宇宙ステーション長期滞在ミッションへの参加のために、若田宇宙飛行士は4回目の宇宙へ旅立たれます。

若田飛行士が搭乗するロシアの有人宇宙機「ソユーズ宇宙船」は、カザフスタン共和国バイコヌール宇宙基地から飛び立つこととなります。ソユーズロケットで打ち上げられまして、約6カ月間の滞在ということになります。

そして、この最初の4カ月間は、フライトエンジニアとして国際宇宙ステーションに接続されます日本の実験棟「きぼう」を含むISS、いわゆる国際宇宙ステーション各施設のシステムの運用、日本及び国際パートナーの科学実験をはじめとする宇宙環境の利用に重点を置いた活動が行われます。

そして、さらに平成26年の3月ごろから、後半の2カ月は、日本人初のコマンダー、船長に就任をする予定で、全体の指揮に当たられるということでございます。

そこで、さいたま市としては、子どもたちをはじめとする市民の皆さんの宇宙に対する興味あるいは関心に積極的に応えていくために、若田宇宙飛行士のミッションを応援し、その功績や活動などを顕彰する事業を青少年宇宙科学館、そして宇宙劇場などで実施をさせていただくことといたしました。

主な事業については、ご紹介をこれからさせていただきます。

まず1つ目が、若田宇宙飛行士講演会の開催でございます。これは、「国際宇宙ステーション長期滞在飛行に参加して」ということで、宇宙へ夢を持ち続けている子供たちに熱いメッセージを若田宇宙飛行士から届けていただくということで実施をいたします。日時は、平成25年7月27日の土曜日、午後4時から5時半までということになります。

会場は、浦和区の駒場にありますが青少年宇宙科学館で実施をされますが、あわせてこれはライブ中継ということで、宇宙劇場のほうでもこの中継を行わせていただき、そこでも見ていただくことになっております。また、あわせてインターネット上でも動画配信をしております。

続きまして、12月14日土曜日から、青少年宇宙科学館、そして宇宙劇場で企画展「若田宇宙飛行士展」というものを2つの場所で開催させていただきます。

国内では唯一JAXA（ジャクサ）しか展示されておられませんソユーズ

帰還船の船内の模型、これは乗車体験可能となっているものでありますが、これを展示する予定であります。

これは、非常に狭い空間の中にたくさんの計器が並んでおりまして、宇宙飛行士の疑似体験ができるというものであります。

また、若田宇宙飛行士の経歴、またお母さんから(お借りする)、宇宙への夢を描いた少年時代の若田飛行士がかかれました絵、あるいはつづられました作文なども展示をさせていただく予定になっております。

さらに、宇宙飛行士が船外活動するときに着用する宇宙服、これのレプリカも展示をさせていただく予定でございます。来館者が実際に身につけていただくことができ、宇宙飛行士の気分を味わっていただくというものであります。

また、これまで行われてきました3回にわたる宇宙での活動についての紹介パネルもあわせて掲示をさせていただく予定でございます。

続きまして、カウントダウンイベントについてでございます。

この打ち上げの当日となる予定の11月に打ち上げカウントダウンということで、宇宙劇場で実施をする予定としております。JAXA（ジャクサ）の協力を得まして、若田宇宙飛行士の4回目のフライトを生中継する予定となっております。

宇宙開発に関する有識者の解説をつけまして、青少年をはじめ市民の皆さんと一緒に応援していく、そうしたイベントにしていきたいと思っております。

インターネット配信もあわせて行わせていただきまして、市民の皆さん、また時間帯によりましては市内の小中学校にもライブ中継を呼びかける予定にしております。

また、JAXA（ジャクサ）の選考により決定することになり、現時点ではまだ未定でございますが、国際宇宙ステーションと青少年宇宙科学館を映像と音声で結んで、長期滞在の若田宇宙飛行士と市内小中学校の児童生徒が交信するイベントを企画して、今提出をしているところでございます。

続きまして、宇宙への夢を持ち続けている子供たち、また市民の皆様、宇宙航空の研究開発に関する理解をより一層深めていただくということで、普及・教育活動の一環としまして、JAXA（ジャクサ）と連携をし

た宇宙教室、それから講演会を実施させていただく予定であります。

この宇宙教室では、知識の習得に偏らず、実験あるいは体験による感動を与えることを重視しました体験型のプログラムを計画いたしております。

講演は、JAXA（ジャクサ）の教授や職員の方をお招きする予定となっております。

これらのイベントは、宇宙劇場については10月、そして青少年宇宙科学館については来年の2月に開催を予定しております。

主な事業につきまして幾つかご紹介をさせていただきましたけれども、このような取り組みを通しまして、若田宇宙飛行士の功績、あるいは活躍を広く顕彰し、市民の皆さんに宇宙に対する興味あるいは関心を高めていただくとともに、夢や希望を持っていただけるように、また子どもたちを含め、市民の皆さんの中でさいたま市に対する誇りにもつながるようにできればと考えているところであります。

私からの説明は以上でございます。

## 議題に関する質問

- 毎日新聞 済みません、幹事社のほうから関連して何点かお伺いさせていただきます。  
7月27日の若田さんの講演会ですが、これは何人ぐらいの方を対象に、どういう方を対象にされているかというのをお聞かせください。
- 市長 これは担当が。
- 事務局 青少年宇宙科学館です。一般の方を対象に550名を予定しております。  
300席の会場と250席のプラネタリウム会場、2会場で行う予定です。
- 毎日新聞 市長のほうからですね、改めて今回4回目の宇宙のほうに行かれる若田さんへのメッセージをお願いします。
- 市長 今回は、4回目の宇宙への飛行ということもありますし、また途中からコマンダー、船長という大変大きな役割を日本人として初めて若田光一宇宙飛行士が担われるということは、これはもうさいたま市のみならず、日本にとっても大変大きな誇りにつながることだと思っております。若田さんのこうした功績あるいは取り組みに対して、私たちはより多くの皆さんに知っていただくとともに、子供たちや、あるいは市民の皆さんの大きな夢につながっていくことを期待したいと思いますし、またあわせてさいた

ま市への誇り、愛着にもつながっていくものと考えております。私たちとしても全市を挙げて若田光一さんを応援していきたい、このように思っております。

- 毎日新聞      ありがとうございます。  
                  幹事社から以上です。関連の質問がある社の方はお願いします。
- 埼玉新聞      済みません、ちょっと具体的なことですが、27日の講演会の参加者というのは、もう募集は締め切っているのでしょうか。
- 事務局        定員になっております。
- 埼玉新聞      市民のうち、子供は何人くらいいるんですか。
- 事務局        この時間ですので保護者と一緒に来ていただくという形で考えておりますので、250から300ぐらいは子供たちが対象かと思っています。
- 市 長        ほかにはございますか。
- テレビ埼玉    若田さんが市役所に市長の表敬訪問とか、そういうご予定というのは今のところ。
- 市 長        今のところは、予定されておりません。
- テレビ埼玉    市長は、若田さんにお会いになったことは。
- 市 長        そうですね。1度、ちょうど3回目が終わった後、報告会をやらせていただいたときに直接お目にかからせていただきまして、いろいろお話をさせていただきましたし、また地方の対談などでも一緒にそういう機会を持たせていただきましたけれど、非常に人柄のいい、すばらしい方だという印象を持ちました。

#### 幹事社質問：

- ① 無届事業者への届出指導、業務内容改善指導について
- ② 入居者の転居支援策について
- ③ 浦和駅高架下及び周辺開発計画、JRに出した7項目の要望実現について

- 毎日新聞      ほか、いかがでしょうか。  
                  幹事社質問のほうに移らせていただきます。幹事社のほうから3点質問させていただきます。

1 番目に、6 月定例市議会で、生活保護受給者に住居・生活・金銭サービスなど提供する事業者を規制する条例が施行されました。

1 1 2 カ所にも上る、既にある無届け事業者への届け出指導、業務内容改善指導について、どういった手順で、いつまでに、誰が行うのかを具体的に教えてください。

2 点目が、質問 1 に関連してなんですが、現在こういった施設に入居されている人のうち、転居を希望している人への具体的な転居の支援策を教えてください。

3 番目の質問が、J R 東日本が 1 0 日、浦和駅高架下や西口駅ビル開発計画を正式発表しました。

計画には、市による交差道路建設、地下道接続、市営駐輪場設置なども含まれています。市として浦和駅高架下及び周辺開発計画を再度ご説明願います。完成目標時期も教えてください。

また、市側から J R へ出されていた 7 項目の要望の実現についても、ご説明願います。

○ 市 長

それでは、幹事社からの質問に順次お答えをしたいと思います。

まず初めに、幹事社のご質問の 1 番目と 2 番目は関連がございますので、一緒に答えさせていただきたいと思います。

本条例の制定に当たりまして、まずご提出をいただいたさいたま市議会保健福祉委員長をはじめ、関係各位のご理解とご協力のおかげで、この条例が 6 月市議会において無事に成立をしたことをこの場をおかりしまして感謝を申し上げたいと思います。

条例につきましては、7 月 9 日に公布をいたしまして、本年 1 0 月 1 日から施行ということになります。

今後は、条例の適正な執行によりまして、住居・生活・金銭管理サービス事業に対しまして必要な指導を行い、生活保護受給者の権利利益の擁護と自立の支援に努めていきたいと思っています。

まず最初の質問についてであります。条例の所管部署は保健福祉局福祉部保護課になります。保護課が届け出の指導や勧告、改善の命令などを行ってまいります。

また、施設に入居する生活保護受給者への支援は、各福祉事務所のケー

スワーカーが行うこととなります。

具体的には、条例の施行にあわせて事業者からの届け出の有無の確認、福祉事務所からの情報提供や立入調査による違反事実の確認を行い、一定の条例違反につきましては勧告・命令、従わない場合は公表を行います。

また、不当営利行為・入居者に対する不当行為や調査拒否については、事業の制限・停止を命令し、従わない場合には罰則の適用といった手順で考えております。

大まかには、事業の制限など制裁措置に関係するものは保護課が行い、そして指導や助言をあわせて福祉事務所も行うということにさせていただいております。

また、2つ目の質問であります。転居支援につきましては、条例の施行にあわせて積極的に行っていきたいと考えております。

具体的には、不動産業者への同行など住宅を確保するための支援と、転居した後も地域で安定した生活が営めるように継続して支援を行う事業を事業者へ委託により行う予定としております。

1、2については以上でございます。

続きまして、3についてでございますが、順次お答えをしていきたいと思っております。

まず、駅東西を結ぶ交差道路整備につきましては、今後3路線を整備していく予定となっております。1つが、既存の仲町地下道を平面で通行できるようにする。(画面を指さし)このところの路線と、伊勢丹付近に新設する路線。また、田島大牧線の南側に新設する路線という、この3本ということになります。

(画面を指さし)これ①、②、③ということになりますが、この伊勢丹の付近に新設する路線、ここだけは、歩行者専用ということになります。それで、(画面を指さし)この①と③については、歩行者と自転車が両方通れる、こういった通路ということになります。

一応完成時期については、今年度と来年度の2カ年度で整備の完了を目指しております。

それから、地下道の接続についてでございます。(画面を指さし)この部分は、浦和駅の東西通路と、この中ノ島です。これはちょっと皆さんから



見えにくいかもしれない。いわゆるバスがとまる、あの停留所のところに結ぶ、この中ノ島地下道については、今年度は詳細設計を実施する予定でありまして、その結果を受けまして、J R東日本によるこちらの西口の駅ビルの建設と同時に、この整備をする方向で進めております。

着工、竣工の時期についても、今後詳細を詰めてまいる予定となっております。

また、接続通路を整備する際には、西口のうなこちゃんのある石像の両側に階段、(画面を指さし)ここには出ていないです。階段が2カ所あります。うなこちゃんがあって、両側にありますが、その交番側のところ、その通路のところにエレベーターを設置するようにしております。

それから、次に市営駐輪場でございますが、これにつきましては都市計画道路田島大牧線の南側、(画面を指さし)この部分です。ここが田島大牧線が走っているところですが、これの南側のところに(仮称)高砂自転車駐車場の整備を行っていきます。

現在、実施設計を進めておりまして、施設の完成は今年度末を予定しております。

この(仮称)高砂自転車駐車場は、既存施設であります市営の第1・第2自転車駐車場のリニューアルということになるもので、収容台数は約1,300台ということになりまして、施設内にオートスロープというものを設けて、利用者の利便性の向上を図ってまいります。

それから、浦和駅周辺の開発計画についてもご説明をします。

浦和駅周辺では、鉄道高架化工事が完成し、東西連絡通路の開通によりまして、東西市街地の一体化が図られたところでありまして、この鉄道高架化事業を契機に、さらなる都市機能の充実を進めてまいります。

その中で、まずは浦和駅西口南高砂地区の市街地再開発事業、(画面を指さし)この部分です。(田島)大牧線の北側、駅前のちょうど南側という、この挟まれた場所です。ここには、1.8ヘクタールの区域におきまして、地元地権者を主体としました市街地再開発組合の施行によりまして再開発事業が予定されております。今年度事業計画の認可、そして平成30年度の完成と伺っております。

この事業によりまして再開発ビルが新設され、商業、業務によるにぎわ

い創出、また新たな住宅の整備が図られるとともに、駅前広場の拡幅、それから都市計画道路の整備によりまず都市基盤の整備が推進されることとなります。

さいたま市といたしましても、浦和駅の玄関口の顔となるまちづくりとして引き続き支援を行ってまいります。

それから次に、県庁通り（浦和西口停車場線）の整備についてでございます。

（画面を指さし）これはこのところです。（画面を指さし）この図でいいますと、ちょうどここが駅で、ここがロータリーでございますが、要するに県庁通りにずっと抜けていく、旧中山道より手前側、駅寄りのところの部分でございますけれども、昨年5月に私と埼玉県知事が現場視察を行って、歩道のバリアフリー化、そして自転車通行空間の確保の必要性を感じたところでございます。

この浦和西口停車場線の中山道とコルソ間の、約110メートルです。（画面を指さし）ここからここまでの110メートルの区間につきましては、平成24年12月都市計画事業として認可を受けまして、現在の幅員18メートルを22メートルに拡幅いたします。

高砂地区の再開発ビルへのアクセスの向上にも寄与するこの事業は、今年度から道路北側の用地取得に着手をしまして、平成28年度完成予定でございます。

次に、市から要望しました7項目についてでございますけれども、現在、協議中の部分が多くなってございますけれども、半分以上あるいは大方の部分が実現の見込みがあるのではないかと考えております。

具体的に申し上げますと、観光案内所及び市民の窓口の高架下移転につきましては、市の要望を取り入れながら、協議を進めさせていただいていくところでございます。

また、駐輪場対策についても、南北に駐輪場が設置される予定ということでございますので、配慮をいただいているものと考えております。

その他の要望項目につきましても、地域と一体となったまちづくりに寄与していきたいとJRからもご回答いただいておりますので、前向きに進めていただけるように、お願いを引き続きしてまいりたいと思っております。

す。

私からは以上でございます。

## 幹事社質問回答に対する質問

- 毎日新聞      ありがとうございました。
- 済みません、関連してちょっと1点だけ伺いたします。1つ目の質問で、現在ある事業所への立入調査ですとか、届け出の有無の確認をされるというお話だったんですが、これはいつまでにされる予定で今いるのかというのを伺いたしたいんですが。
- 市 長            まず具体的に申し上げますと、今の条例の施行規則、あるいは事業者、(保護)受給者、福祉事務所向けの説明資料及びリーフレットを作成しておりますけれども、まず事業者に対しては、今月中に通知をして、設備運営等で改善すべき点がある場合につきましては、条例施行までに改善するように促してまいります。また、10月1日以降速やかに届け出を行うように通知をしてまいります。
- 通知対象となる施設は、現在保護課で把握している市内に所在する無料低額宿泊事業の事業者、これが7事業者13施設ございます。そしてまた、社会福祉各法に位置づけのない施設、いわゆる無届施設の事業者が17事業者(112)施設がございますので、これに対して、条例施行前の9月上旬頃を目途に事業者に届け出書類等を送付し、再度届け出を促す予定となっております。
- また、これらの事業者が具体的に条例が施行されて1カ月以内に届け出を行われない場合であるとか、契約書の写しを提出しない場合など、条例に違反するときには保護課が届け出や提出を行うように期間を定めて勧告、命令を行う予定にしております。
- 毎日新聞            幹事社質問につきまして質問がある社の方はお願いします。
- 埼玉新聞            埼玉新聞です。
- 浦和駅です、交差道路と中ノ島地下道接続については市の負担で行うというふうに伺ったんですけれども、その総額どのくらいの費用がかかるのでしょうか。
- 市 長            担当から。

- 事務局 浦和駅周辺まちづくり事務所です。
- お金についてのご質問ですが、先ほど市長のほうからご説明ありましたように、今年度詳細設計を予定しております。その詳細設計の中で幾らぐらいという形のものをつかんでいきたいと思っています。
- 以上です。
- 市長 ほかに。
- 埼玉新聞 ちょっと追加ですね、市が負担するところ結構あるということと、中ノ島地下道接続に関しては、JRのほうから地上権ということで費用負担をさらに求められているというのをちょっと聞いたんですけども、実際そうなのかということと、あとちょっとこの高架化事業そのものに関して約350億の大部分を市が負担しているところもあって、さらにですね、市の負担が増えていくと、一方でJRがそうした商業施設をつくっていくということでのJRの利益の割合が大きいのではないかという気もしているんですが、市としてJR側にも負担の増加を求めていくというような考えはないのでしょうか。
- 市長 その辺は、公共の部分に該当するものなのか、あるいは民間が事業者としてやるべきものなのかということについて、十分協議をしながら進めていきたいと思っておりますが、大方もう区分けはできているのですかね、そこは担当から。
- 事務局 浦和駅周辺まちづくり事務所です。
- 先ほどの交差道路につきましては、もともと市のほうで上げた後につくっていかうという市の計画がございまして、それに基づく施工ということで、その時点で市のほうの費用で整備していくということで考えております。
- 埼玉新聞 中ノ島地下道は。
- 事務局 中ノ島地下道については、土地の問題も含めて今協議中ですので、あらかじめ方向が見えたらまたお伝えしたいと思います。
- 埼玉新聞 地上権という話も出ているんですか。
- 事務局 言葉としては出ています。
- 市長 ほかにございますか。
- 埼玉新聞 済みません、もう一点伺いたいんですけども、JRが発表しました北

エリアにできるですね、北改札口に関してなんですけど、北エリアの商業施設の営業時間内のみの利用が可能ということを発表してはいたけれども、そうなりますと北エリアにできるですね、市民の窓口ですとか、あと保育所などができた場合、早朝とかですね、夜の利用が、改札が使えないとなると、1回外に出て東西連絡通路に回ってこなきゃいけないような事態も懸念されるのではないかと思いますけれども、そのあたりの協議はどうなっていますでしょうか。

○ 市長 基本的に、北口改札の設置運営については、一義的には事業主体が決定することであると思っておりますが、今地元からも、朝早くから夕方まで、要するに開業している時間外も使いたいという、使わせてほしいというような要望もございますので、そういったことも踏まえて、今市から働きかけを行っているというところであります。

○ 毎日新聞 ないようでしたら、その他自由にご質問お願いします。

#### その他質問：

① 宝塚市役所での放火事件について

② 参議院議員選挙について

○ 時事通信 時事通信です。お願いします。2点あります。

1点目が、兵庫県宝塚市役所での放火事件の件なんですけれども、さいたま市にもですね、いろんな来庁者の方いらっしゃるかと思うんですが、あの事件を受けてですね、市として今後の対策というんでしょうか、課題みたいなものがあれば伺いたいのと、その事件自体を市長がどう受けとめていらっしゃるのか、あわせて。

もう一点が参院選です。大体各社の情勢記事ではですね、優劣が見えてきたところなんですけれども、主な党のですね、各党の政策論争をどのようにごらんになっていらっしゃるか、2点お願いします。

○ 市長 まず、1点目の兵庫の放火事件についてですが、これについての対応はまだ具体的には、すぐに検討、対応してはおりませんが、やはりそういった市民の皆さんからのいろんなクレームであったり、いろんな働きかけ等々あるというのもまた事実でありますから、そういったことを踏まえて、私たちとしても、交通安全という部分では警察から今出向していただいた

りもしておりますので、警察だとか、あるいは危機管理という視点から、こういったことについても職員の安全をしっかりと守っていくという観点も大変必要であるし、また同時に来庁している市民の安全確保をしていくということからも、これについては今後検討していかなくてはいけないと思っております。

- 時事通信 事件自体はどのように受けとめていらっしゃいますか。
- 市長 理由はともあれ、公共の場であります市役所で、そういった多くの方の被害が想定できるような、火炎瓶による放火が行われたということは、これはもう許しがたいことであると思っております。ですから、今後やはりそういったことのないように、安全確保に努めていかなければいけないと思っております。
- 時事通信 参院選は。
- 市長 参院選についてでございますが、現状としては争点が、全体としてはアベノミクスに対する評価であるとか、TPPだとか、あるいは憲法の問題であるとか、争点が一つに絞られていなくて、多数あると思っております。  
一方で、きちっとした政策論争が行われているのかどうかということについては、もう少し工夫の余地があると思っております。この夏の暑い時期であったりしておりますので、少しやはり市民の皆さんに、必ずしもこの政策論争的なことが伝わらずに投票率が下がるということを非常に懸念しておりますし、また参議院選挙によって国の政治が大きく変わる可能性もあるという大変重要な選挙だと思っておりますから、より一層、候補者の皆さんには、国民の皆さんにわかりやすく争点となるべき重要な政策についてきちっと説明をしていただくとともに、国民の皆さんもしっかりと、大変重要な権利でありますから、投票所に行って権利を行使していただきたいと思っております。
- 時事通信 参院選に関係してもう一点なんですけれども、この前の市長選でですね、市長は民主党の支援を受けられて再選されましたけれども、これまでに民主党候補のですね、街頭ですとか集会に応援に行かれたかということと、今後行かれる、もしご予定があれば教えてください。
- 市長 民主党の支援は受けておりません、一つはですね。私の市長選において民主党の支援は受けておりません。

- 時事通信 支援も受けていないということですか。
- 市長 民主党としての支援は一切受けておりません、2期目の選挙ですよね。個々の方々が応援をしていただくということはあったかもしれませんが、党としての支援は一切受けておりません。
- 時事通信 そうですか。
- 市長 はい。ですから、今回特定の政党について応援するという事は一切やっております。
- 時事通信 候補者についてはいかがでしょう。
- 市長 候補者についても同様であります。
- 埼玉新聞 関連でですね、今回の選挙、参院選の争点で政策が十分に伝わっていないんじゃないかという指摘がありましたけれども、市長としては特に具体的にどの政策の論争が不十分だとかですね、わかりにくいという点ありますでしょうか。
- 市長 今回は全体としての、安倍政権に対する支持率が、少しアベノミクスに対しては景気がよくなってくるんじゃないかという期待感と、それに対応して支持率が非常に高まっていると思いますが、ただ一方で、それが前面に出過ぎて個々の政策論争については必ずしも十分ではないなど、一つはやはり憲法の改正であったり、あるいはTPPの問題であったり、この辺が必ずしも十分な議論をされていないと思っておりますし、エネルギーについても、それぞれ何か十分掘り下げられていないような気はしています。ですから、政策論争というよりは、やや人気投票的な感じになっているのかなという気はしています。
- 埼玉新聞 以前に1度お伺いしたんですけれども、その争点の一つの憲法改正、96条改正についての市長のご意見をお聞かせください。
- 市長 今具体的に出されているものについて、それも賛成ではありませんけれども、今までより少しそのハードルを下げていくという考えを持っていくということについては、検討の余地があるんじゃないかと以前も申し上げましたけれども、そういうふうに思っております。
- 憲法については、議論すべきところをしっかりと議論して、やはりどうしても変えなきゃいけないときにはしっかりと変えていくべきだと思いますけれども。

## その他質問：欧州訪問について

- 埼玉新聞      ヨーロッパ訪欧に関してですね、手応えでありますとか、何か印象的なエピソードがあったらお聞かせください。
- 市長          今回のヨーロッパの出張については2つの目的が、ご案内のとおりありました。1つは、世界盆栽大会の誘致と、それからもう一つは、さいたまクリテリウム by ツールドフランスの広報ということでありましたが、まず盆栽大会については、ヨーロッパの盆栽協会の会長さん等々、お目にかからせていただいたんですが、この方々、1回目(の世界盆栽大会の際に)さいたま市に来ていただいたご経験のある方でもありました。そういう意味で、非常にさいたま市に対して協力的でありましたし、大宮盆栽の魅力等についても十分ご理解をいただいているということで、私たちも誘致については今後難航するのではないかという予測もあっただけに、非常に力強い手応えを感じたところでもあります。

それから、ツールドフランスの関係についても、私たちが記者発表するに当たって、当初想定していた人数よりもかなり多くのマスコミ、あるいは記者の方に来ていただきました。そして、あわせてASO側も、今大会について非常に積極的に取り組んでいただいているということを改めて痛感しました。特に会見では、ツールドフランスで5勝されましたイノー選手という自転車界では、日本でいうと長嶋茂雄さんみたいな、そういうイメージの方がいらっしゃると思いますが、その方にも会えて、私たちの記者会見で同席をしてくれて、応援のお話などもしていただいたりもしましたので、そういう意味では大変期待を寄せていただいているということを改めて痛感したというところではあります。

## その他質問：脱法ハウスについて

- 毎日新聞      現在ですね、東京都内で脱法ハウス、違法ハウスと言われる建築基準法に違反して、1つの住居を多数の人数で割って使っているというような住居の実態が明らかになっていますが、さいたま市内でそういった住居がないかどうかという調査を既にされているかどうかということと、もしまだでしたら、今後の予定を教えてください。



- 市長 現状としては、まだ数を把握したりしている状況はございませんので、今後そういうことを調査するということになるかもしれません。今まだその辺がはっきりしておりませんが、脱法ハウスは、いわゆる貸し事務室と表記をされているところに、住まいとして小分けにして活用されているというものとすると、調査自体をまだ行っていません。今後については、そういったものの状況を把握するためにどこかで調査をする必要があると思っています。
- 毎日新聞 ほかよろしいですか。  
以上です。ありがとうございました。
- 進行 それでは、以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。  
なお、次回の開催につきましては8月8日木曜日、13時30分から予定をしておりますので、よろしくお願いいたします。  
なお、この後14時30分からこの会場で超小型モビリティ社会実験、ホンダとさいたま市によります共同発表会を開催いたしますので、どうぞよろしくお願いいたしますと思います。どうもお疲れさまでございました。

午後2時14分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣いなどを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）あるいは「会見後訂正」とし、下線を付しています。